



西伊豆町

議会だより

第50号

2017年
9月定例会



うまい「合宿めし」調理中!

なかよし通学合宿実行委員会主催の「なかよし通学合宿」

交付金で販路開拓

2

決算を認定

4

監査委員からの提言

6

9月7日（木）から9日（土）まで、中区公民館で小学4年生と6年生による通学合宿がおこなわれました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

交付金で販路

開催期間	9月5日から9月15日まで
審議した案件	町長提出 16件（内 平成28年度各会計決算認定 6件） 議員発議 1件
可決した主な議案	一般会計補正予算（第4号）、国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 林道祢宜畑倉見線災害復旧工事変更請負契約の締結 など

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算 （第4号）（全員賛成）

地方創生推進交付金、ふるさと応援基金繰入金、臨時財政対策債などを歳入として、地域商社事業設立・普及業務委託2300万円、観光バス誘客事業調査委託500万円、町有林間伐業務委託970万円など、総額4億600万円の増額補正となりました。

地方創生推進交付金事業

問 地域商社事業設立・普及業務委託の詳細は。

答 全額国の予算でおこなう事業です。

2300万円の内、450万円は町内に地域商社をつくる委託費用です。

残りは、これから幹事自治体の香川県丸亀市と共に公募をおこない、選ばれた事業者に委託して東京の販売拠点で事業を進めます。

問 具体的な事業内容は。

答 商材の掘り起し、ブランディング、プロモーション、販路開拓などです。

問 全額国の予算とのことだが、歳入予算が不足ではないか。

答 不足分は、交付税で算定されます。

地域介護・福祉空間整備

問 この補助金は国だけか。

答 国だけです。

問 利用者は。

答 小規模介護施設事業者です。

臨時財政対策債

問 今回の発行目的は。

答 一般会計の持ち出しを減らすため充当します。

防災用無線機追加購入

問 補正予算2号でも同じ予算がある。

一緒に購入できなかったのか。

答 前は、既存配備分を交換し、今回新たに病院、学校などへの配備を追加しました。

観光バス誘客事業調査委託

問 具体的な事業内容は。

答 企業とタイアップし、来年4月から6月にお客様にアンケート調査など実施するものです。

開拓!!

地方創生推進交付金を活用して、地域商社や販売拠点を設立し、単独では販路開拓が難しい町内業者の商品を取りまとめて、都市部などへの売り込むことを目的としています。

丸亀市と連携して新商品の開発やブランディングもおこなう予定です。

国民健康保険特別会計 補正予算（第1号） （全員賛成）

人事異動による人件費の増額と前期高齢者納付金が増額になり、130万円を追加します。

介護保険事業特別会計 補正予算（第1号） （全員賛成）

人事異動による人件費、臨時認定調査員の雇用、介護予防サービス給付費の増など4990万円を追加します。

問 臨時認定調査員とは。

答 繁忙期でも週2日ほど、勤務できる有資格者です。

人権擁護委員候補者の推薦 （全員賛成）



西島洋子氏【仁科】



鈴木秀輝氏【一色】

祢宜畑倉見線請負契約 の変更（全員賛成）

28年12月定例会で議決された林道祢宜畑倉見線災害復旧工事を566万3千円増額、総額は5534万4千円です。

第4回臨時会 平成29年8月18日

（町）浦上八木線改修 工事請負契約（全員賛成）

安良里南信号（浦上）から安良里北信号（坂本）までの道路舗装工事です。

町単独費でおこなう浦上から天坂バス停車前までの第1工区では、ガードレールの交換や設置もおこない、残りの区間は第2工区とし、防災・安全交付金事業として実施します。

問 交付金と交付率は。

答 交付金は2042万4千円で、交付率は58.89%です。

問 施工方法は。

答 請負業者との打ち合わせが前提となりますが、町道宮川線などを迂回路として利用しながら、何工区かにわけた中での施工を

考えています。

問 工区内の商店や金融機関の営業に支障がないようにする配慮は。

答 回覧板などで広報して、迷惑のかからないようにします。

一般会計補正予算 （第3号）（全員賛成）

林道祢宜畑倉見線災害復旧工事に伴う追加査定の増加により、1400万円を追加します。

問 追加工事の必要性は。

答 災害査定を受けて工事を始めた第1工区及び第2工区の土留め擁壁工で、谷側部分の地盤が悪いので、擁壁を大きくして安定させることが必要です。

問 なぜ単独費なのか。

答 付帯工事や道路舗装は災害査定で認められず、単独事業となります。

問 当初の設計段階で補助対象になるよう配慮すべきでは。

答 災害の場合、査定までの時間に余裕がなく、標準的な設計になる傾向です。

今後、精査した設計を心がけます。

平成28年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計の決算は、実質単年度収支2億6207万2千円の黒字。

歳入においては、ふるさと納税は2年連続10億円突破となったものの、町税や国庫支出金・町債などの減により決算額は昨年と比べて減少し、総額78億1321万341円となりました。

歳出では、光ファイバ網整備事業、安良里診療所新築工事、田子みなと公園トイレ建替工事、消防団第2分団詰所新築工事、町道田子安良里線改修事業、保育料完全無償化などが実施され、総額73億3940万6563円となりました。

28年度決算の差し引き残額は、4億7380万3778円になりました。

一般会計 (賛成9：反対1)

問 ふるさと納税の費用実績は、既存の事業に財源を振り分けただけで、プラスアルファの事業がないが、今後の使い方は。

答 クラウドファンディング的な、使い方を明確にした募集・活用をしていきたい

です。

問 台湾澎湖県との友好交流事業の対応は。

答 引き続き進めていきます。

問 木製の机・椅子の寄贈を小学校の全児童におこなったが、こどもたちの評価は。

答 概ね好評で、「木の温かみを感じる」と聞いています。

問 福祉センターの電気・ガス使用料が多額だが、サービス業者の負担は。

答 福祉センター使用料として、月に10万円です。

問 使用料としては安いのでは。

答 施設全体は役場が利用しているなかで、介護業者として町が誘致した経緯があります。

問 使用料の見直しが必要では。

答 検討します。

問 各地区からの要望事項の未処理は予算不足なのか。

今後、実施する予定は。

答 要望事項の確認や工法の検討をおこなっています。

問 「黄金崎クリスタルパーク」の借地料は開始当時から変わっていないのか。

答 変わっていません。



木の温もりを感じる机と椅子

2億6207万2千円

実質単年度黒字

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 一般被保険者療養費のなかで、補装具・柔整・ハリ等の医療をうける場合、医師の診断書などが必要となるのか。

答 補装具は、治療に必要であるという証明書が必要ですが、その他はいりません。日常生活上の肩こりなどは保険の適用外です。

問 広域化により県に移行された場合、課の組織はスリム化するのか。

答 確定した話ではありませんが、広域化に移行したからといって市町の事務量が減ることはないようです。今後、何年か運営していく間に事務量の調整があれば検討します。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

問 保険料の現年度分に収入未済額が発生する理由は。

答 後期への移行時や年金額の関係などで普通徴収となり、その一部が未納となる場合があります。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 高額介護サービス費が年々増加傾向にある。

チェック体制は。

答 限られた人員の中ですが、介護給付費適正化対策としてケアプランチェック、住宅改修工事の現地確認をしています。

水道事業会計 (全員賛成)

問 旧賀茂と旧西伊豆との料金体系のすり合わせを早くおこない、料金統一をおこなう必要があるが。

答 合併時の話し合いで「で

きるだけ速やかに統一する」ことになっています。

料金統一に向けての検討を進めていきたいです。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 「老朽化が進んでいる施設・設備の整備に重点を置く」とあるが、改修事業に補助制度はあるか。

答 ありません。

問 宇久須温泉は27年に改修され順調に配湯されているが、再度改修工事が必要になるとも限らない。

新たな温泉源確保は。

答 考えていません。



老朽化が進む温泉施設

監査委員からの提言

平成28年度 監査委員意見（抜粋）

監査委員 山本 豊・堤 和夫

審査の主眼点

- (1) 町長から提出された決算書、その他関係書類の様式は法令に準拠し計数は正確か。
- (2) 財政運営及び資金収支は健全かつ効率的におこなわれているか。
- (3) 経費の支出限度が事業目的を達成するための必要最小限にとどまり節約の姿勢が伺えるか。

審査の結果

決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果誤りのないものと認められた。
また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており誤りのないものと認められた。



ふるさと納税返礼品

一 般 会 計

ふるさと納税返礼品

国の指導への対応を十分検討すること。
魅力ある返礼品の開発をすることで、心配される寄附者減の対応を検討すること。

まちづくり。人づくり事業

事業を継続的に実施することで、地域の人材活用や掘り起こしを図ること。

観光ポスター等の作製

効果的な宣伝活動ができるよう観光協会・商工会と協力して実施してほしい。

移住・定住事業

希望者増加対策として、住宅取得、借家リフォームに対する貸付や補助制度について検討してはどうか。

併せて、町職員OBを活用し、アドバイザー組織を立ち上げてはどうか。

収入率

個人住民税は99.5%という高収入率を確立し、3年連続県内1位を維持するという結果に対し、職員の努力に感謝する。

研修参加

各種研修に積極的に参加させて、職員の資質向上に努めてほしい。

介護保険事業特別会計

介護保険事業計画の策定

前期の教訓を基に、住民に十分に説明できる保険料算定を望む。

温泉事業会計

ポンプ等機器の入替

各ポンプ等機器の入替計画書の作成を早期にしていきたい。



老朽化が進む温泉施設

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本 洋志	山本 智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田 厚司	西島 繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決 結果
第4 回 臨 時 会	29年度 防災・安全対策事業(町)浦上八木線改修工 事請負契約の締結 [契約金額7236万円]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	29年度 一般会計補正予算(第3号) [1400万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
9 月 定 例 会	28年度 林道祢宜畑倉見線災害復旧工事請負契約の 変更 [擁壁工等の増に伴い、566万3520円増額]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	29年度 一般会計補正予算(第4号) [4億600万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	29年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号) [130万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	29年度 介護保険事業特別会計補正予算(第1号) [4990万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	28年度 一般会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	認定
	28年度 国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	28年度 後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	28年度 介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	28年度 水道事業会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	28年度 温泉事業会計決算認定	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	人権擁護委員の推薦 [西島氏]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	適任
人権擁護委員の推薦 [鈴木氏]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	適任	
29年度 農山漁村地域整備交付金 津波防災ステ ーション工事(安良里地区)請負契約の締結 [契約金額6210万円]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	可決	
道路整備に係る補助率の高上げ措置の継続を求め る意見書(案)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	

議長(高橋敬治)は採決に加わりません。



山本 栄 議員

診療所跡地に防火水槽を

(町長) 必要と考え検討

質問 旧安良里診療所は、解体予定で、本年度予算に約800万円が計上されている。しかし、この時期になっても解体か再利用かの方針が定まっていなと感じる。再利用する考えは。

町長 まだ、方針は定まっていません。建物は老朽化しているので解体の方向で考えています。

質問 跡地に防火水槽を設置する考えは。

町長 浜川河床に設置の防火水槽が使用できないので、必要とは考えます。

掘削工事で近隣の迷惑にならないか懸念されるので、必要面積に対しどのように設置できるかも含め、検討したいです。

光ボックスの希望件数は

106件です

質問 町内の光ファイバ網整備に合わせ、光回線加入者に対し光ボックスの無償提供を進めているが、現在の

状況は。

町長 加入された方が752件で、光ボックスの希望者が106件です。

質問 光ボックスの希望者が少ない。普及方法は。

町長 光ボックスで配信できる内容と仕組みを整えることが先です。

その後、利便性の説明などで普及に努めます。

質問 幼稚園や学校の運動会など、イベントの動画を配信することは可能か。

町長 可能と考えますが個人情報保護の問題もあり、検討します。

町で灯台の管理は

関係者と相談

質問 安良里灯台は、35年に廃止される予定だ。

町が管理する灯台として存続が可能と聞かすが、対応は。

町長 存続について、海上保安庁と話し合います。

質問 安良里網屋崎の整備をどのように進めるのか。

町長 岸壁からの侵入通路を整備し、その後は漁協や地域の方と相談して進めたいです。



解体し防火水槽を

安城岬ふれあい公園の利用促進策は

(町長) ドローン映像を配信



加藤 勇 議員

質問 安城岬ふれあい公園は「町民と観光客の交流の場として、新しいまちなかの名所を起こし、観光地として拡大を図る」目的で16年から3年間で約3億5千万円（補助1億5千万円）をかけて整備されたが、目的に沿った利用がされていない。利用促進策は。

町長 ドローンの映像を配信し観光PRに努めます。

質問 地元観光業者と一体となった活用は。

町長 要望があれば共に取り組みたいです。

質問 宿泊業者と協働して広場を活用し、宿泊者に特典を与える策は。

町長 相談があれば検討します。

質問 敷地内にあるイベント広場を撤去し、全体をフラットにし広く利用しては。

町長 ドクターヘリの離発着場所で、緊急性や救急利用を考えると、すぐに空けられる状況にしなければなりません。

質問 全体をフラットにすることで、ドクターヘリの利用場所を限定できないか。

町長 利用時には敷地内全体に影響が生じています。

質問 地域おこし協力隊員にドローン空撮会社代表の方がいる。

講習場所としての活用は。

町長 活用します。

旧安良里小学校跡地の利用は

現状のままで

質問 利用計画がないまま放置され有効に活用されていない。跡地利用策は。

町長 現状でいきたいです。

質問 建設残土を活用し旧国道の高さ（海拔9.1㍎）まで嵩上げし、津波浸水域外（レベル1）として活用できないか。

町長 嵩上げをおこなってもレベル2の津波想定高（11㍎）をクリアできないので、考えていません。

質問 敷地内を流れる坂本川は、25年の被災以来復旧されていないが対策は。

町長 下流を含めた改修案ができ次第、地区説明会をおこない、来年度予算に計上したいです。



待たれる有効活用は



山本智之 議員

オンデマンド交通の検討は

(町長) 町独自の公共交通の議論を提案

質問 高齢によりマイカーを使えない、あるいは使えなくなるなど、移動に制約を受ける方の増加が懸念される。

買物をはじめ、生活に必要な施設への移動手段として、利用者の要望に速やかに提供できるオンデマンド交通の調査・検討は。

町長 調査・検討はしていません。

過日開かれた西伊豆町公共交通会議において、既存のバス路線の他に当該管内を走っている車両を利用した西伊豆町独自の公共交通の議論を進める提案をしました。

質問 今後、バス路線のない地区に限定した調査・試験運行の計画は。

町長 ありません。

タクシー会社さんとの兼ね合いもあり、オンデマンド交通には慎重な判断が必要です。

質問 バス券・タクシー券の交通助成制度の拡充は。

町長 助成額を増やしてもニーズに応えられるとは思いません。町独自の公共交通の検討をします。

給食センター設置は

認定こども園と併設で

質問 給食センター設置場所の教育委員会案は。

町長 認定こども園の保育部が設置される場所です。

質問 小・中学校も含めた規模になるのか。

町長 今後、西伊豆町立文教施設等整備委員会で議論する事案です。

中学校統合は

現状維持で

質問 中学校の統合案は暫定的となっているが、松崎高校との中高一貫教育を視野に入れたものか。

町長 既に連携型でおこなわれています。

現状維持で進んでいきます。

質問 将来の中高一貫教育について、県教育委員会との協議は。

町長 町単独での正式な協議はしていません。



待たれる独自公共交通への議論展開

瀬浜海岸駐車場の増設は

(町長) 善処したい



山本 洋志 議員

質問 観光地の受入れ態勢として駐車場確保は必要です。堂ヶ島地区及び瀬浜海岸駐車場の現況と建設計画は。

町長 堂ヶ島地区は、現状で対応できています。瀬浜海岸の駐車場は足りないと感じていますが、用地がないため近隣のホテルに相談し、善処したいです。

質問 クリスタルビーチの駐車場は一般海水浴客の駐車場がない。

向磯地区の洞を埋立て、用地を確保できないか。

町長 考えてみたいです。

質問 宇久須海水浴場は、3台分しかなく困っている。

町長 公園付近の利用について、浜区と近隣の地権者に相談したいです。

観光振興は

ニーズ調査をする

質問 観光振興は、喫緊の課題といわれるが、対策は。

町長 補正予算に、お客様の

ニーズ調査で委託費500万円を計上し、5,000人の観光客を呼びたいです。

商工振興は

今、仕掛けをしている

質問 商工振興は、商工会と連携した間接的支援をといわれるが、対策は。

町長 国の交付金で香川県丸亀市と連携して地域商社を設立し、販路開拓の仕掛けをします。

個々の事業者には直接支援できないので、団体として要望してほしいです。

水産業振興は

近いうちに実施したい

質問 獲る漁業から育てる漁業への振興策は。

町長 イカの水揚げ県下1位の当町で「イカ様バル」を初開催し、大変好評でした。

今後、漁協、町の職員が一体となって体験ツアーなど企画し、PRしていきたいです。

また、育てる漁業も地元業者の協力を得ながら、近いうちに実施したいです。



駐車場用地は？



堤 豊 議員

観光ニーズに対する調査は

(町長) していません

質問 夏に観光ニーズに対する調査をしたか。

町長 予算もなく調査していません。

質問 今後の対応策は。

町長 本議会にニーズ調査のため委託費として500万円の補正予算を計上しました。

今後、関係団体から意見集約して、対応策を講じる予定です。

質問 東京オリンピック、パラリンピック開催を控え、伊豆市と共同による誘客宣伝活動をする考えは。

町長 「伊豆ベロドローム」でのイベントに参加しました。今後、サイクリングツアーなどに協力していきます。

質問 「ゆるキャラ」などを活用して、宣伝活動する考えは。

町長 考えていません。

しかし、既に町内には、歌って踊る「ゆるキャラ」もあり、そのキャラクターに頑張っていたきたいです。

町道の整備状況

順次整備している

質問 町内全域で「ひび割れ」「わだち掘れ」など舗装の老朽化が著しい。

点検はしているのか。

町長 国が定める統一基準により、5年に一度の点検をしています。

質問 町全体での整備計画はあるか。

町長 ありません。

ただし、26年度の調査により路面を診断し、町道の利用頻度を勘案して、順次

おこなっています。

あれも、これも、やるのではなく、よく吟味して実施していきます。

本年度は町道浦上八木線の整備を2ヵ年で実施する予定を単年度で終了させ、利便性を図る予定です。

質問 町道の不備により事故があった場合の対応は。

町長 事故が発生したら役場へ一報（報告）していただきたいです。

法律上の賠償責任もあり、総合賠償保険に加入し、事故対応しています。



乗浜海岸の風景

公共交通の確立を

(町長) 費用最小限で町独自を検討



増山 勇 議員

質問 今後の公共交通政策のために実態調査する考えは。

町長 調査をするまでもなく、公共交通の充実を計りたいという考えは同じです。

質問 地域公共交通会議の目的と開催回数は。

町長 町全体の公共交通問題を考える会議として、年1回程度の開催をしています。

主に宮ヶ原地区への自主運行バスが議題です。

今回ホテルや旅館などの車両利用の提案がありましたが、法的な課題もクリアしなければなりません。

住民の利便性を高めるため、費用を最小限度に抑えながら、町独自のものをつくりたいと考えます。

質問 対策を考えるため、町主体の協議会を立ち上げ検討しては。

町長 対策検討事項の1つとして協議会が必要かもしれません。

県移管で国保税は

上がる可能性

質問 国民健康保険が来年度から県に移管されます。

今後の国保税の動向は。

健康福祉課長 前期高齢者の比率が高く、国保税が上がる可能性が考えられます。

質問 昨年度は、支払準備基金に1億円を積み立てた。

国保税を上げないようにすべきだ。

町長 県への納付額が、いまだに示されていませんが、努力します。

銃剣道はスポーツか

スポーツです

質問 中学校新教育指導要領に、33年度から保健体育の選択教科として「銃剣道」が示された。

スポーツなのか。

教育長 定義的にはスポーツです。

質問 採用は誰が決めるのか。

教育長 採用は学校で決定します。

町内には、「銃剣道」の指導者はいません。



色々な形で公共交通の利便性を



芹澤 孝 議員

移住体験ツアーの現状は

(町長) 1組移住してきました

質問 移住体験ツアーの現状は。

町長 ツアーは、27年度1回、28年度2回開催し、合計11組25名の方々が参加しました。

28年度1回目の参加者1組が、今年1月に移住してきました。

29年6月の募集では、応募者がありませんでした。

質問 近年は、子育て世代の移住希望者が増え、お試し移住住宅の需要が増えている。

当町は子育て世代に手厚い施策を取っているのに、8月以降予約が入っていないが、対策は。

町長 空き家や仕事が確実に提供できないと、子育て世代の移住に結びつかないと聞いています。

現在、地域おこし協力隊が、人が足りていない事業者と話し合い連携することで、移住者と求人がマッチングするような体制を整えています。

テレワークの導入は

次の段階で

質問 当町のように地の利と労働人口に恵まれない地域は、企業誘致は厳しい。

情報網を駆使した、サテライトオフィス、テレワークを導入すべきと思う。

産業振興促進計画に入れていないが。

まちづくり課長 昨年、光ファイバ網が整備され、これからWi-Fi整備をおこないます。

サテライトオフィスなどは次の段階になります。

浮島トンネルの拡幅は

採択されませんでした

質問 半島振興法では、基幹的な町道を県が代行整備(※)する特例規定がある。

浮島トンネルの拡幅工事は対象にはならないのか。

産業建設課長 県と協議しましたが、採択されませんでした。

※代行整備
町の施設を県が代行して整備する事業。(一部町負担があります。)



お試し移住住宅 (移住希望者が町を知るために利用する)

議会の動き

現金主義から発生主義会計へ

第1常任委員会は、7月13日に会計課と窓口税務課の所管事務調査を実施しました。

会計課の資金運用については、「安全確実に効率的」な運用が法律で義務付けられており、実際の資金運用状況について調査しました。

現在、日々の支払いや積立基金の取崩しなどが円滑に処理できるように、運用系預金に13口座、積立基金系預金に35口座、さらに支所・出張所などへの両替用持ち資金及び有価証券などの投資、その他資産を合わせ運用しています。

今後、有価証券などの有効活用や資金の調達・運用などの方針の検討及び原則の確立も重要になってきたことを確認しました。

一方、29年4月より、地方自治体の新たな会計制度として公会計がスタートしました。

今までの現金主義から社会全般で広く採用されている発生主義による複式簿記により、貸借対照表に代表される財務諸表を作成、従来の単式簿記的部分を補完して統一基準による財政状況の把握と開示、さらに一般会計と各特別会計との連結決算といった町全体での財政開示もおこなわれ、組織全体での適正化への指針が期待できます。

今後これらの推移を注視、検証したいと思っております。



会計課

町税徴収に万全を期す



滞納整理強化中！

窓口税務課では、28年度決算見込みの町税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療料など各部門別、現年・滞納別の徴収実績、滞納処分について調査しました。

◇滞納処分の標準的な手続きの方法

1) 督促状の発送

納付期限を約1ヶ月経過後「督促状」送達。

2) 財産調査の実施

督促状発送より起算して、10日後までに完納しないと、預貯金、給与、保険などの財産を調査。

3) 財産の差押・換価

最悪の場合、調査で発見した財産の差押。

4) 滞納整理機構への移管

高額・困難案件は、静岡地方滞納整理機構に移管して整理。

当町は、上記の手続きを確実に履行し、29年度決算見込みにおいて、県内上位の収入率を維持できる予定です。今後は、人事異動があっても業績を落とさない体制、マニュアル整備なども考えなければと思います。

また半島・過疎地域における「不均一課税等制度」の導入は、事業所減が著しいなか、県と市町一体となり不均一課税を実施することで、就業機会確保と産業振興が図られることに期待します。

第1常任委員長 山田 厚司

宇久須配水池耐震化工事始まる

第2 常任委員会は、6月29日に企業課、産業建設課の所管事務調査を実施しました。

水道事業の「宇久須配水池耐震化工事」は、ステンレス製水槽200m³が1基（耐用年数60年）で来年3月末完成予定です。

また、水道会計は、合併時の水道料収入からは、毎年減少傾向にあります。人件費や電気料などの支出は合併時と大きな変わりがなく推移しており、しばらくは黒字会計が続く見通しですが料金統一を進める必要があります。

温泉会計は、温泉利用や民宿経営を辞められる方がいるので、収入は減少傾向にあります。現在は、黒字経営をおこなっています。

加入者が増えることを望みます。



配水池工事中の写真

集中管理センターの必要性は

産業建設課の「津波防災ステーション工事」は、安良里地区の工事をおこなっています。

集中管理センター（役場内で一括して監視・管理する施設）建設完了は33年度を予定していますが、集中管理センターの維持・管理費に年間約1千2百万円の費用が掛かります。

支出減少のためには、集中管理センターの必要性について十分な検討が必要です。

最終処分場延命対策は

第2 常任委員会は、7月28日に環境課、防災課の所管事務調査を実施しました。

環境課の主要事業である、クリーンセンター業務は、建設から20年経過し、経年劣化などにより建屋に雨漏りが発生し、本年度3千万円をかけて対策をおこないます。

焼却灰などを埋め立てる最終処分場は、今後延命対策を進めていきながら10年後にも使用できるようにするためにも、処分量の減量対策として、ごみ減量化推進も重要なことと考えます。

斎場建設は、松崎町との共同建設ができないか検討中ですが、斎場建設の基本的なプラン（現状把握・建設規模・面積・利用形態など）を、専門家に委託して作成し、協議促進の資料とする必要性を進言しました。



最終処分場の写真

家庭での家具転倒防止を

防災課は、津波対策の一環として、既に整備されている津波避難路を地区役員とともに現状把握・点検をおこない、対応を進めていく予定です。

また、家庭での対策として、地震における被害の防止と軽減を目的として、家具の転倒を防ぐための固定金具等の購入費用を補助しています。

第2 常任委員長 加藤 勇

それでも価値あるキャンプ地誘致

8月17日、静岡県市町議員研修会が静岡市「グランシップ」でおこなわれ、元NHK解説委員で現在は法政大学スポーツ健康学部教授の山本浩氏による「東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップをチャンスとした地域活性化」と題した講演を聴講しました。

スポーツと地域の関わり合いを中心に置いた講話の中で、キャンプ地誘致には、公認用具や公認施設などをどこまで用意できるのか。

地域が大会・ファン・選手に対してどのようなサポートができるのか。

そのスポーツを知ろうとする具体的な行動とは何かなど、キャンプ地のハード・ソフト面の

負担についての指摘がありました。

国際交流の一躍を担うことや、本物を見て・聞いて・知るというハード面だけでなく、情報のレガシー（遺産）が残るなど「それでも価値のあるキャンプ地誘致」だと強調されました。

静岡県は、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催地になっています。

伊豆地域では、マウンテンバイクレースや、スプリント・ケイリンなどの競技が開催予定で、最も身近なスポーツになります。

レガシーとして伊豆に残すための努力は、行政・住民が一体となった地域全体の取り組み方にかかっていることを学びました。

副議長 山本 智之

追跡レポート

あの一般質問 どうなった??

生コン会社と災害時支援協定

平成29年3月定例会 高橋 敬治 議員



ここから始まります

定例会でおこなわれた一般質問の中からその後の動き、現在の状況を調査しました。

問 1月31日に発生した住宅火災の消火活動において、水利不足の課題があった。生コン車の迅速な要請が必要では。

答 現場で新たな水利の確保が必要ならば、要請するのが当たり前なので、生コン会社と契約を結びます。(平成29年3月答弁)



7月31日、(株)賀茂生コン・伊豆工業(株)西伊豆生コン仁科工場と災害時の活動に対する支援協定を締結しました。

これにより、災害時の水利不足が一つ解消されました。

わが町の遊歩道 ②

町内にある10本の遊歩道をご紹介します。今回は「安城岬遊歩道」です。

安城岬遊歩道

安城岬では、1時間あまりの散策で四季折々の様々な植物と堂ヶ島や松崎の絶景を楽しむことができます。

早春に真っ先に春の訪れを告げてくれる土肥桜、そしてウバメガシ、タブノキ、ヤブニッケイなどの木々が心地よい林を作っています。

ウバメガシの群落は圧巻です。



ここは、今から500万年ほど前に噴火した海底火山で、その後隆起したものです。大半がスコリアと言って鉄分の多い黒い軽石でできています。

このスコリアは、岬の先端部に行くことができます。

途中には、中世の砦跡もあり、ここの人々がこの岬に古くからなじんでいたことがわかります。

多少のアップダウンはありますが、晴れば富士山も見ることができ、時折現れる美しい景色は疲れを吹き飛ばしてくれます。

このコースは仁科集落からほど近く一周すれば約3kmのコースです。

町内探訪 24

藤井歯科医院 (海外医療ボランティア)



藤井歯科医院院長
藤井規之さん
(宇久須在住)



フィリピンでの診療風景

9年前から海外医療ボランティアとして、東南アジア諸国で活躍している「藤井歯科医院」院長の藤井規之さんにお話を伺いました。

質問 きっかけと訪問国は。

藤井さん 海外医療奉仕団体の友人に誘われ、フィリピン、カンボジア、ネパールに行きました。

質問 日本の治療との違いは。



カンボジアでの歯磨き指導

藤井さん 医療保険制度が確立していないことや格差社会のため、医療を受けられない方が多いこと。抜歯や薬の処方など1回で完結する治療のみになります。

質問 今後の活動は。

藤井さん 機会があれば、今後も行きたいと思います。

[取材 山本洋志・山田厚司]

平成29年10月13日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL (0558) 52-1962 FAX (0558) 52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962